



災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行いました

2月27日（火）に大宇陀ふれあい交流ドームにおいて、今回で3回目となる訓練を行い、市内の民生・児童委員やボランティア団体等多くの方々にご参加いただきました。

第1部では、奈良県総合ボランティアセンターの田中和博氏・松尾朝子氏を講師にお招きし「災害ボランティアセンターって何？」について講義をしていただきました。第2部は、参加された方々と合同でセンター運営役（受付班・オリエンテーション班・マッチング班・資機材班・送り出し班・活動報告班）とボランティア役に分かれて訓練を行いました。

主な内容

- P2 令和6年度事業計画
- P4 令和6年度当初予算
- P5 令和5年度共同募金(学校募金) / 「楽しい手話教室」(入門課程) 受講者募集
- P6 ささえあい地域づくり講演会 / 生活支援サポーター養成講座
- P7 宇陀市市民講演会 / いきいきサロンボランティア養成講座 / 人事異動のお知らせ
- P8 相談日のお知らせ / リサイクル情報 / 善意銀行
赤い羽根共同募金にご協力いただきました / ほっとひといき

令和6年度事業計画

様々な社会変化を背景として暮らしや地域のあり方が多様化する中、人々が抱える課題も複雑化・複合化しています。

また、単身世帯や高齢者世帯の増加により、近隣住民との繋がりが希薄化していることから、住民同士の見守りや支え合う関係づくりが求められます。

このような中、国では、社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、地域住民が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をもとに創っていく「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められています。

宇陀市社会福祉協議会では、地域担当職員の生活支援コーディネーターを活用した地域づくりの支援に取り組み、「重層的支援体制整備事業」のアウトリーチ等を通じた継続的支援事業の実施により支援が届いていない人に支援を届ける、人と人、

人と社会をつなげる包括的な支援体制の構築に向けた事業の推進を図ります。

また、令和6年度は、第1期地域福祉活動計画の最終年度を迎えるにあたり、これまでの事業成果や目標に対する達成状況を再度確認し、第2期の計画についても宇陀市と連携し策定します。

地域福祉活動計画の基本理念とする「安心」「笑顔」「つながり」が重層的に作用し合いながら子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人もともに健やかに暮らせるまちづくりを目指します。

そして、今後30年以内に70%の確率で発生すると言われている南海トラフ地震など大規模な自然災害に備え、ICTを活用した災害ボランティアセンターの設置運営訓練、ボランティア育成の為に研修会などに取り組み、相互の連携強化を図ります。

重点目標

- ・ 第2期宇陀市地域福祉活動計画の策定
- ・ 福祉のまちづくりに向けてのネットワークづくり
- ・ 地域福祉活動・地域づくりの推進
- ・ 成年後見機能と権利擁護支援の充実
- ・ ボランティアセンター事業の推進

≡ 主な事業内容 ≡

1 地域福祉活動計画の進行管理と次期計画の策定

宇陀市と相互に連携し地域福祉の推進を効果的に実施していくため、地域住民をはじめ行政・関係機関との連携を図ります。地域力を活かし、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住民主体の地域支え合いの仕組みづくりに関する取り組みを効果的かつ効果的に実践し、令和6年度の事業の遂行について適切な進行管理を行います。

また、第1期地域福祉活動計画は最終年度を迎え、令和7年度を初年度とする第2期地域福祉活動計画を策定します。

- (1) 第1期地域福祉活動計画の進捗状況の点検・評価の実施
- (2) 地域福祉活動計画策定委員会の開催
- (3) 第2期地域福祉活動計画の策定

2 安心安全ネットワークづくり

地域住民、自治会、民生・児童委員、まちづくり協議会等との協働により、「地域づくり」「体制づくり」を図り、住み慣れた地域で共に暮らせるよう、身近な地域の中で、お互いの「やりげない気付き」や「ちょっとした目配り」が行えるような、見守り体制を構築し、支援体制を推進します。

3 地域福祉活動・地域づくりの推進

◆いきいきサロン
高齢者の交流や仲間づくりの場、介護予防の場として、継続的な活動につながる運営支援を行います。

◆お元氣コール
一人暮らし高齢者等に安否確認を電話で行い、孤独感の解消を図ります。

◆高齢者等サポート隊
高齢者や障がい者など誰もが地域の中で安心して生活していくために、見守り・声かけ訪問活動等の支援活動を行います。

◆ワンコインライフサポート
高齢者や障がい者等の日常生活上の困りごとに対して、ボランティアの方がちょっとした家事援助などを行います。

◆声の便り広報
目の不自由な方に「広報うだ」「社協だより」等をCDやテープに録音し、貸し出します。

◆絵手紙通信
一人暮らし高齢者等に絵手紙を送り、心の交流を図ります。

◆生活支援体制整備
高齢者が住み慣れた地域で生きが

いを持って生活が続けられるよう、地域の実情や住民ニーズに合った助け合い・支え合いの仕組みづくりについて取り組みます。

4 相談支援・生活支援・権利擁護の推進

◆総合相談

- ① 日常的な総合相談
- ② 重層的支援相談
- ③ 専門相談（弁護士・精神科医相談）

◆生活福祉資金貸付

低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯等の生活を経済的に支えるため、生活福祉資金の相談と貸付を行います。

◆緊急食料支援（フードレスキュー）

生活に窮迫した相談者に対して、一時的に食料品の提供を行います。

◆日常生活自立支援

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な方の権利を擁護し、安心した生活が送れるよう支援します。

◆法人後見

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、意思決定が困難な方に対し、財産管理や身上監護を行い、安心して日常生活を送ることができるよう支援します。

◆家計改善支援

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者自身が家計

を管理できるように、早期の生活再生を支援します。

◆子どもの学習支援

学習の習慣を身に付けるとともに、自らの能力を伸ばし社会で自立していく力など、子どもの将来に向けた包括的な支援をします。

◆家族介護教室

高齢者等を自宅で介護している家族等の方に、介護の方法や健康づくりについての講話等を行います。

◆家族介護者交流

日頃の介護の悩みや情報交換等の親睦交流を行い、心の癒しや心身のリフレッシュを図ります。

◆福祉用具貸与（車椅子の貸出）

市内に居住している方に、一時的に車椅子の貸出を行います。

5 権利擁護センター（ほっとサポート）の運営

認知症、知的障がい、精神障がい等、判断能力が十分でない方が、権利を侵害されることなく住み慣れた地域で安心して生活できることをめざして権利擁護に関する事業を実施し、成年後見制度の利用促進と権利擁護体制整備を図ります。

6 重層的支援体制整備の推進

分野別の支援体制では対応しきれないような「複雑化・複合化した支

援ニーズ」に対応する包括的な支援を介護福祉課・医療介護あんしんセンター等の福祉関係各課と協働しながら、アウトリーチ等を通じた継続的支援に取り組みます。

7 ボランティアセンター事業の推進

住民による自主的なボランティア活動が展開しやすい環境を整え、ボランティア活動を支援し、地域住民が幅広く、様々な分野のボランティア活動が推進できるよう、ボランティア育成及びボランティア活動拠点の機能強化・体制整備を図ります。

◆手話奉仕員養成

◆聞こえのサポーター養成

◆ライフサポーター養成

8 障害児通所支援児童発達支援事業所にじじいこあらの運営

市内にお住まいの就学前の2～5歳児のお子さまで、医療機関や臨床心理士からの診断又は発達支援を受けることを勧められている方に、個々の発達に応じた支援や活動を行います。

「個別計画」に基づき、一人ひとりの心身の成長を促すとともに、自立した生活を営むことができるよう基礎となる力を育て支援します。

9 募金活動及び団体事務

- ・宇陀市共同募金委員会の運営
- ① 運営委員会及び審査委員会の開催
- ② 募金活動及び助成事業の効果的な広報、啓発事業の推進
- ③ 共同募金配分事業
- ・宇陀市共同募金運動の展開
- ・宇陀市善意銀行の運営
- ・宇陀市老人クラブ連合会の事務
- ・菟田野地域におけるタフシー利用補助事業等

10 社会福祉協議会の基盤強化

- ・法令に遵守した会務運営
- ・経営管理体制の強化
- ・事務局体制の整備と事務事業の効率化
- ・労務管理の適正化
- ・福利厚生の実施
- ・自然災害対策の推進
- ・広報啓発



令和6年度 当初予算をお知らせします

収入

単位：円

区 分	予 算 額
寄附金収入	269,000
経常経費補助金収入	77,601,500
市補助金	73,301,500
共同募金配分金	4,300,000
受託金収入	33,666,620
市受託金	32,598,620
県社協受託金	768,000
その他の受託金収入	300,000
事業収入	692,000
利用料	692,000
障害福祉サービス等事業収入	14,816,000
障害児通所給付費	14,760,000
利用者負担金	56,000
その他の収入	12,000
積立資産取崩収入	3,500,000
サービス区分間繰入金収入	8,521,000
合 計	139,078,120

支出

単位：円

区 分	決 算 額
総務費支出	95,527,000
事業費支出	9,798,520
日常生活自立支援	50,000
民生委員実費弁償	132,000
地域福祉活動推進	3,800,520
いきいきサロン	219,000
生活支援体制整備	178,000
介護教室・介護者交流	80,000
聞こえのサポーター養成	111,000
手話奉仕員養成	294,000
高齢者等サポート隊	67,000
善意銀行	270,000
成年後見	156,000
権利擁護センター	1,288,000
家計改善支援	254,000
児童発達支援	2,501,000
療育教室支援	224,000
ライフサポート	54,000
ワンコイン生活支援	120,000
事務費支出	11,659,600
共同募金配分金事業費支出	4,300,000
助成金支出	2,383,000
固定資産取得支出	2,036,000
積立資産支出	527,000
その他の支出	3,826,000
サービス区分間繰入金支出	8,521,000
予備費	500,000
合 計	139,078,120

予 算 総 額

139,078,120円

令和5年度 共同募金（学校募金）ご協力ありがとうございました！



大宇陀小学校



榛原小学校



大宇陀中学校



榛原中学校

学校募金は、福祉教育の一環として、小・中・高等学校などで、児童・生徒からご協力いただいた募金です。
 ※街頭募金では、菟田野小学校、室生小学校、室生中学校のみなさん、ご協力ありがとうございました。



「楽しい手話教室」(入門課程)受講者募集

耳の不自由な方との交流やボランティア活動をするために、日常的なコミュニケーションがとれるよう楽しく手話を学んでみませんか。

日 時	令和6年6月12日～令和6年11月27日までの毎週水曜日 全23講座 午後1時30分～午後3時00分（7月24日、8月14日は休み）
場 所	農林会館（宇陀市榛原下井足825）
対 象	次の全ての条件に該当する方 ① 宇陀市内在住・在勤・在学の方 ② 原則として、全ての課程（23講座）を受講できる方
定 員	20名（先着順）
費 用	テキスト代 3,300円（講座受講料は無料）
申込期日	5月30日（木）
申 込 先	宇陀市社会福祉協議会に電話でお申し込みください。 TEL：0745-84-4116 IPTEL：0745-88-9202 （申込者が少ない場合は、今年度の講座を中止する場合があります。）
そ の 他	全講座のうち8割以上出席された方に修了証をお渡しします。

ささえあい地域づくり講演会を開催しました

令和6年2月2日（金）宇陀市文化会館かぎろひホールにおいて、酒井保氏を講師にお招きし、ささえあい地域づくり講演会「つながる喜び・つなげる喜び～あなたは、どんなまちにしたいですか？～」を開催しました。

少子高齢化や核家族化の急速な進展とともに、地域における人と人の交流やつながりの希薄化が進み、家族や地域で支え合う機能が弱まってきていると言われています。住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、隣近所がお互いを思いやり、困ったときには助け合い、温かな気持ちで支え合う関係づくりが重要になります。

今回の講演会では、地域で支え合うことの大切さを再認識し、「つながり」のあるまちづくりを進めていくために、参加者一人ひとりが地域のために何ができるかを考え、支援活動や取り組みに参加する意欲を高める機会となりました。



生活支援サポーター養成講座を開催しました



【田口講師】



【宮田講師】

令和6年2月27日（火）宇陀市医療介護あんしんセンターにて、買い物や簡単な生活援助（住居等の清掃・ゴミ出し）等日常生活でのちょっとした困りごとをお手伝いし、高齢者の暮らしを地域で支えるボランティアを養成する「生活支援サポーター養成講座」を開催しました。

講師に、葛城市社会福祉協議会の田口研一郎氏と大宇陀特別養護老人ホームラガールの宮田武士氏をお招きし、葛城市での住民の方向士の支え合いや地域とのつながりについて、どのようにされているか事例紹介をしていただきました。また、ご利用者様宅へ訪問した際のマナーや、信頼関係をつくるのに必要なコミュニケーション方法を学びました。

市民講演会を開催しました

令和6年2月14日（水）宇陀市文化会館かぎろひホールにおいて、高口光子氏をお招きし、令和5年度宇陀市市民講演会「やさしくなれる介護・やさしくなれない介護～認知症の人の心に届く声のかけ方・接し方と意思決定支援～」を開催しました。

高齢化の進展にともない、認知症患者数も増加し、内閣府の「高齢社会白書」によれば、2025年には65歳以上の5人に1人程度が認知症になると予測されています。

認知症になると、生活に支障がでるような物忘れが増えたり、話の内容が理解できずに辻褃が合わない発言をしたり、時間や場所が分からなくなるなどの症状が現れると言われてますが、それでも、認知症の人の誰もが、心の中にはしっかりとした意思は持ち続けていると言われてます。

今回の講演会では、認知症についての正しい理解を持ち、声のかけ方や接し方を工夫することで、その人の中にある真の思いに行き着くことができる、ということを学ぶことができました。



いきいきサロンボランティア養成講座を開催しました

令和6年2月14日（水）いきいきサロンのボランティア19名の方が参加され、「藤の短冊飾り」を作成しました。お花紙で一枚一枚花びらを作り、色や大きさのバランスを見ながらきれいな作品に仕上げました。今後各地域のサロンでも作っていただき、季節を感じていただきたいと思います。



人事異動のお知らせ

■新規採用

- ▷辻本 春美【児童発達支援事業所 にじいろこあら 所長（一般任期付再雇用）】4/1付
- ▷吉岡 陽子【児童発達支援事業所 にじいろこあら 主事】3/1付
- ▷谷岡 理香【権利擁護センター ほっとサポートうだ 会計年度任用職員】4/1付

■権利擁護センター ほっとサポートうだ 4/1付

- ▷山口 真弘【主事】

■退職 3/31付

- ▷中谷 俊一【権利擁護センター ほっとサポートうだ 主事】



相談日のお知らせ

弁護士による福祉専門相談

【要予約 先着2件】

■日時 5月14日(火)
6月11日(火)
午前10時～正午まで

精神科医による専門相談

【要予約 先着2件】

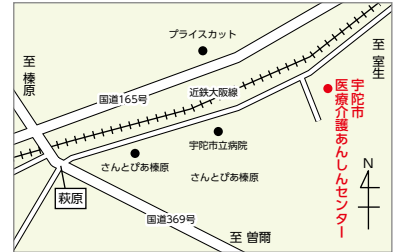
■日時 5月21日(火)
6月18日(火)
午後2時～午後4時まで

場所・申込先

宇陀市社会福祉協議会 けんりようご 権利擁護センター ほっとサポートうだ
(宇陀市榛原福地28番地の1 医療介護あんしんセンター内)

☎ 0745-88-0778

※弁護士・精神科医の相談日時と場所は、変更する場合があります。



リサイクル情報

★申し込みは、宇陀市社会福祉協議会までご連絡ください。
☎0745-84-4116 IP☎0745-88-9202

宇陀市社会福祉協議会では『もったいない』そんな心を大切に、家庭にある不用品を譲りたい人、求める人の仲介を行っています。ただし、家電製品は取り扱っておりません。譲っていただく品物は、希望者が現れるまでご自宅で保管していただきます。希望者が現れるまでに処分されましたら、宇陀市社会福祉協議会までご連絡ください。

譲ります

- 学習机
- チャイルドシート
- ポータブルトイレ
- 補助輪付き自転車 (男の子用) 16インチ
- お宮参り用ベビードレス (白色レース)
- 柔道着 (白) 小学校高学年～中学生用
- 女子用ランドセル

譲ってください

- 自転車 (子どもも乗せられる)
- 榛原中学校 女子夏用・冬用制服上下
- 榛原西小学校 男子制服上下ブレザーとズボン150～160
- 榛原東小学校 女子冬用制服上下ブレザー150～160 スカート140～160
- 本棚 (高さ約150センチ)
- 榛原東幼稚園 制服上下 (どのサイズでも可)



善意銀行

宇陀市善意銀行に次の方から預託いただきました。
厚くお礼申し上げます。(2/1～3/31受付分)

◆匿名 63円切手×200枚 (絵手紙用として) ◆宇陀市菟田野毛皮革産業振興協議会 98,346円



赤い羽根共同募金にご協力いただきました

榛原 萩乃里自治会 様

社会福祉法人 宇陀市社会福祉協議会

〒633-2221 奈良県宇陀市菟田野松井486番地1
(菟田野地域事務所内3F)

部署	電話番号	IP電話	FAX番号
総務福祉課	0745 84-4116	0745 88-9202	0745 84-3600

宇陀市社会福祉協議会ホームページ
<http://www.udashi-shakyo.jp/>

～ほっとひといき～

我が家に遠方からお客が来られ、玄関でお茶を飲んでいると、彼が「なんと素敵な「額」があるところに住んでいるのでしょう。玄関から見えるお寺の屋根、桜と山の緑のコントラストが、一枚の絵画のように見えるね」と羨ましがられました。

普段当たり前の生活環境で暮らしていると、なかなか気が付かないことに気付かされ少し嬉しくなった一日でした。

(広報編集委員 菅間 正則)